

## 液晶ペンタタブレットをつかった「Web学級日誌」の評価による学級づくり

暁学園 暁小学校（三重県四日市市） 水谷 浩三



### 【実践の概要】

道徳の授業のはじめの10分間程度を利用し、日直が毎日記している「WEB学級日誌」を、1週間分まとめて順にプロジェクタを利用してクラス全員で見せていく。そして、毎日の日誌の内容や表現について考えを出し合う。その話し合いのポイントを液晶ペンタタブレットに書き込み1週間をふり返る取り組みを通して学級づくりを行う実践である。

### 【実践のウリ】

- 1) 評価により、より伝わりやすく、楽しい「WEB学校日誌」を目指そうとする子どもたちの意識が高まり、情報活用の実践力の育成へつながる。
- 2) 全員で1週間の出来事をふり返ること、また、個人にスポットを当てたニュースを話題にすることが、学級や学校生活について考え、お互いのよさを認め合えるクラスづくりへつながる。



### 【IT活用の場面】

- 1) プロジェクタとマグネットスクリーンで、すばやく拡大投影した日誌をクラス全体で共有する。
- 2) プロジェクタのズーム機能を使い、WEB学級日誌の細かい各コーナーを詳しく読む。
- 3) 液晶ペンタタブレットで、画面に表示された日誌に評価コメントを書き込む。
- 4) 液晶ペンタタブレットで、コメントが書き込まれたコンピュータ画面全体を保存する。
- 5) 子どもたちがデジタルカメラで、毎日の出来事コーナーに画像を貼り付けることが多い。

### 【子どもたちの学び】

- 1) 日誌を自分の作品と考えるようになった。
- 2) WEB学級日誌の書き込みの表現に工夫をする子ども達が現れた。
  - ・コメントの表現が、読んで楽しくなるような表現で記される工夫が現れた。
  - ・コメントに、自分の考えを示す書き方ができるようになってきた。
- 3) デジタルカメラでの撮影のネタを工夫する子ども達が現れた。
  - ・撮影アングルが、出来事の焦点を絞った、見る者が興味をそそる作品となってきた。
  - ・人物にスポットをあてた作品が多くなってきた。